



保育要領に示された

「劇あそび」の實際について

東京都西櫻幼稚園 山 村 き よ

昨夏全國保育連合會新潟大會の折、研究發表をさせていた
ときましたが、時間がなく充分のべることが出来ませんでし
たので、大會誌に原稿をおせ願つたのでしたが、いろいろ
の手違いから先頃發行された大會誌には當日の速記だけしか
のつておりませんので、今回こゝに發表させていたゞいて充
分御批判をいたゞき度いと存じます。

(一) 劇あそびの目的

新保育の一般目標として言葉の指導が示され、保育要領の
中にも楽しい幼稚園の経験として、どつこ遊び、劇あそび、
お話をあそびは大変重要視されている現在、新保育の目的を達
成する爲の一の遊びの手段として選ぶには最もよいのが『劇
あそび』だと思います。最後に申上げます効果がよくこの目
的を表はして居りますことを充分お考えいたゞき度いと存じ
ます。

(二) 劇あそびに必要な條件
まづ第一に考えねばならない事は

(1) テーマの取り方
で御座いましてこれには次の様なことを考えねばなりません。
イ、 幼児達の日常生活からキヤツチしたもの、
ロ、 裳の方面をとりあげたもの、
ハ、 おとぎばなし、繪本、紙芝居、等からある場面をビ
ツクアップしたもの、

ニ、 一つの繼續したシナリオのもの、又は幼児達の創作
したお話を立體化、等々

でどこまでも幼児の心理的な發達段階によつて私共が簡単
な脚本を造つて與えることで御座います、とかく遊びの苦心
にまけてあちこちとあせつては幼児の心理的な發達段階も無
視して造られた内容のものを吟味もせずに與えている場合も
見受けられますが、こんな事は保育者として大いに考えるべきだと反省させられて居ります。私共はどこまでも自分達の
預つて居ります幼児達の日常生活の中に表はれた遊び、言葉

等をつゝて私共の力で脚色してやる努力がなければならぬと思ひます。こうして與えたものがやがて幼兒の模倣性を通じて創作的なものに進み、やがて効兒達自身によつてひとりでに脚色され發展して行く事を望むもので御座いますが、何と云つても未分化時代の幼兒のばらばらな遊びを一つの遊びにまとめてやることは私共の力に特づところが多いと存じます。そこで脚色にあたつては次のことを考えねばなりません。

(2) 内容構成

- イ、 言葉は出来るだけ簡単に語句を少くくりかえしを多く用いること、
ロ、 音楽と結びつけて構成を助けること、
ハ、 多人數が活躍出来るような場面をつくること、
ニ、 幕を少くすること、 等
- 期待する効果を大にする爲には、どこまでも材料の吟味とその指導法が問題になつてくると存じます。そこでこの材料をよりよく幼兒達に消化させる爲に、次のような細い心やりを必要といだします。

(3) 劇あそび指導上の諸注意

- イ、 言葉ははつきりと日常會話より少し調子を高くさせること、
ロ、 言葉にリズムを持たせること、
ハ、 全幼兒にかわるべく言はせて見て幼兒達と相談して配役をきめること、

ニ、 劇あそびに必要な諸道具はあるべく幼兒達と一緒に造ること、

こうしてすべての方面に苦心して與えた材料が効兒達の興味に合致して、思いがけない効果の数々がつかみ得て喜んで居る次第でございます。次にその具體的なものを申し上げて見ますならば、

(三) 保育効果から見た劇あそび

- ① 敗戦後の落ちつかない社會情勢に引きづられて生活して來た幼兒達に、子供らしい喜びを與えると同時にあります落ちつきを見せて來た。
② 個人差のある發達段階がよくわかり、個性がはつきりつかめて日常保育に役立つた。
③ 優者も劣者もよく自分の能力を發揮して皆と協力した
④ 発音を矯正すると同時に自然の内に言葉つかいをおぼえるようになつた。
⑤ 各々自分の生活に自信を持つて安定感のある生活が出来るようになつた。
⑥ 民主的な幼兒社會性のかん養の一助となつて、グループ生活がよく出來るようになつた。
以上六つの事はごく一般的な事で大づかみにつかみ得た、記録で御座いますが、この他に幼兒一人一人の個人的な性格に及ぼす効果は相當多いものと存じます。また、自律の氣が、まえを養ふ遊びには何よりも効果的な遊びだと存じます。最近教育界にも問題となつて居ります、個人個人の教育効

果と行動の表はれが、この劇あそびを指導している間にはつきりとつかむ機会を與えられるので御座います。人前ではなかなか意志の発表の出来ない内氣な幼児が、劇あそびをした後では自由遊びの折に性格の弱い者同志で積極的にグループを作り、得意になつて演じていたり、又積極的に活動する児達は實にのび〜と自己の意志を友達同志へ傳え合つて、グループを作り實に上手に發展させてくれます。始めは教師の口うつしでおぼえた言葉も、チーマをはつきりつかんだ後は自分で言葉をかえてお友達をうまくリードしているほゝ笑ましい情景も見られ、實際に此の劇あそびを與えて効果を得て居る者でなければ味はあるとの出来ない喜び、又他の方々には想像も出来ない程の期待効果が得られるもので御座ります。

よく小學校の先生方と話し合いの折に問題になります事は「幼稚園の方が程度の高い事をしている」と云はれる事が度々御座いますが、この點は幼稚園の生活全體についても云ふ事で御座いまして、幼児の發達段階を充分みつめて心理的な發達にうまく合致した材料が指導よろしきを得れば、幼児の興味に拍車をかけて面白いように進展して行くものでござります。『幼稚園だから』『児兒は何も出來ない』『させるのは無理だ』とあるわくをはめて考えることは禁物だと思います。殊に二年保育、三年保育、の年長組ともなれば、何事にも保育の効果が表はれ、殊に就學前半ヶ年位の児兒の中にはすべての生活に於てすばらしい發達を示してくれるところがございます。この事は永年保育の現場に居る者のみが聲を大にして申上げる事の出来る嬉しい體験です。又私共保育者のみに與えられる喜びでござります。

附 昨夏の發表に間に合せる爲大急ぎで東京都公立幼稚園で現在迄に行つた劇あそびを『劇あそび脚本集』としてフレーベル館から發行しましたが、近く少々訂正増補して再版することになつて居ります。

文字です。つまり「と」です。そしてそれは「の音を強く強く發しなければならない」ととを示しているのです。

「はいそれも知つてます。お母さんが(S)の符號に就いて教えて下さいましたわ。」

「よろしい！ リナがあ母さんのお言葉にそんなに注意深いことは嬉しいことです。お母さんにも私の喜びを話しておきましよう。併しリナは次にここにある二重符號(ゆを示して)をも説明したり發音したりすることが出来るよう學ばなくてはなりませんね。さあ詳しく述べてごらん。一つ一つの符號をリナは知つてゐるのだから。」

「ああ！ ほんとによく知つてますわ。それは〇とHとですでもゆを一つの音に發音することが出来ませんわ。」

「出来ない？ 出來ると思ひますねー。だつてお母さんはこの二つの符號、即ち文字をどう書くと教えて下さいましたかそれを石盤に示して見せて下さい。」